

輸入燃料体検査申請の概要(第2回製造分)について

今回、申請した燃料体の概要および申請書の記載内容は以下のとおりです。

1. 申請した燃料体の概要

項目	概要			
燃料体の種類	MOX燃料			
初期濃縮度	ウラン235濃縮度約3.0wt%相当以下			
燃料体最高燃焼度	40,000MWd/t			
構造	60本の燃料棒(MOX燃料棒48本、ウラン燃料棒12本)と燃料棒4本分に相当する1本のウォータロッドを8×8の正方格子に配列			
製造工場(所在地)	メロックス工場(フランス)			
使用する発電所	浜岡原子力発電所4号機			
製造体数	60体(※)			
	20体	10体	10体	20体
検査希望年月日	2010年 4月26日 ～2011年 12月31日	2010年 4月26日 ～2012年 12月31日	2010年 4月26日 ～2012年 12月31日	2010年 4月26日 ～2012年 12月31日

※MOX燃料の製造工程と海上輸送の時期に応じて、柔軟に検査対応できるように申請書に記載する製造体数を4つに分割して各々申請しました。

2. 申請書の記載内容

申請書は、本文とその内容を補足する添付書類から構成されています。

申請書		記載内容
本文		燃料体の詳細仕様、製造体数、製造工場等について記載
添付書類	燃料体の性能に関する説明書	燃料体の耐熱性、耐放射線性等について記載
	燃料体の強度計算書	燃料体の機械的健全性に対する評価結果を記載
	燃料体の構造図	燃料体の構造図および部品図を記載
	加工のフローシート	燃料体の加工工程図を記載
	試験の計画に関する資料(※)	燃料体や構成部品に対して実施する試験・検査の計画について記載
品質保証の計画に関する説明書(※)	燃料体の製造体制や品質保証に関する確認事項等について記載	

※これらの2つの添付書類については、申請時点では製造前の計画や方針等を記載しています。燃料体の製造完了後に、製造中の検査結果などを反映した「試験の結果に関する資料」や「品質保証に関する説明書」を作成して提出します。

以上